受入施設等のご紹介

今号では、４か所の受入施設等をご紹介します。（「受入施設等一覧表」に記載されている順番に紹介しています。）現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、下記に掲載されている施設等では、ボランティアの受け入れを中止しています。最新の受け入れ状況については「て・と・り・あ」までお問い合わせください。

No.68 並木小あびっ子クラブ

住所：つくし野７－３０－１
電話：０４－７１８３－２５５１
我孫子駅北口から徒歩１５分
◆元気な並木っ子でいつも賑やかです。放課後に安心して過ごせる居場所作りを目指しています。

No.69 布佐南小あびっ子クラブ

住所：布佐平和台５－１－１
電話：０４－７１８９－５４５０
布佐駅南口から徒歩２０分
◆学年を越えた交流ができ、一人一人がのびのびと過ごせる場所です。

No.70 デイサービスすぱいす

住所：湖北台５－５－３
電話：０４－７１００－８１６０
湖北駅から徒歩５分
◆生活のちょっとした“すぱいす”（刺激）となり、楽しみな場所となっていただけるよう「対話」を大切にしています。

No.71 ガーデンコート我孫子北

住所：久寺家３０７－１
電話：０４－７１８１－１３８１
我孫子駅北口からバス１０分
布施通りバス停から徒歩３分
◆いつも笑顔や笑い声が聞こえてくる「楽しい我が家」と思えるようなグループホームです。

編集後記：ぼらぽ便り１３号をお読みいただきありがとうございます。本制度も、皆様のおかげで１０年目を迎えることができました（パチパチパチ）。制度開始時に登録してくださったボランティア１１６名のうち、現在も４５名の方々が登録を継続し、活躍されていることを、とても嬉しく思います。これからも多くの方々がこの制度を利用し、長く活躍していただけるよう、取り組んでいきたいと思います。（桐山）

発行：ボランティア市民活動相談窓口 て・と・り・あ
〒270-1152　千葉県我孫子市寿2-27-41
でんわ：04-7185-5233　FAX：04-7185-5243
メール：avc@abiko-shakyo.com
H　P：http://www.abiko-shakyo.com/
LINE公式アカウント：@ptq5558x

メール　ホームページ　LINE公式　Facebook

発行日：令和3年10月1日（年1回発行）

我孫子市介護保険ボランティアポイント制度

我孫子ぼらぽ便り

「我孫子ぼらぽ便り」とは

我孫子市介護保険ボランティアポイント制度に登録している方のボランティア活動や、介護保険ボランティア受入施設の情報をお届けするお便りです。

制度登録数

登録者数　451人
男女比数　（男性）29.5%:（女性）70.5%
平均年齢　76歳
受入施設数　87施設　（令和3年9月1日付）

「我孫子市介護保険ボランティアポイント制度」って何？

事前に登録をした65歳以上の市民の方が、市内の介護保険施設等にてボランティア活動に参加し、その実績に応じて付与されるポイント数に対して、年間最大5,000円の交付金を受け取ることができる制度です。

申込み方法：各地区社協、行政サービスセンター等に置いてあるオレンジ色のパンフレット付属の申請書に記入のうえ、各地区社協、または、てとりあまでお持ちいただくか、郵送にてお申し込みください。

登録ボランティアにインタビュー

ボランティアと施設の心地よい関係

介護が必要となっても、自分らしい暮らしを続けたい。そんな思いを応援し、地域の高齢者にデイサービス等を提供する「宅老所 虹の家」。ここで活動している横山（よこやま）さんにお話しを伺いました。

定年退職後、歌のリードを頼まれたことから、ここでの活動が始まった横山さん。「それまで忙しい生活をしていたから、ここで流れるゆっくりとした時間が心地よくて…。スタッフさんも本当一生懸命でね。それで、ここいいなぁ。と思って…。」と、始めたきっかけを話してくださいました。それから７年ほど、歌やお話し相手の活動を続けていましたが、コロナ禍の影響で全面的に活動が中止となってしまったそうです。

ボランティアの横山さん。施設入口にある陶器の看板は、スタッフのご家族の方の手作りです。

暫くして、たまたま「虹の家」を訪れた際に、スタッフの方々が念入りに消毒作業をする姿を見て「スタッフさんがここまでやらなければいけないんだ。これは大変！私ができることはやろう！」と、心が動いたそうです。そして現在は、自宅が近いこともあり、ほぼ毎日、できる時は１日３回朝昼夕と、施設入り口付近の手すりや、ドアノブを消毒する活動をしています。

「誰かの役に立っているという思いは、自分自身を元気にさせてくれる。」穏やかにそう話す横山さんと、「ゆっくり、一緒に、笑顔で、楽しく。」がモットーの「虹の家」に、なんだか似たような雰囲気を感じ、それがお互いを丁度良く必要とし合う、心地よい関係に繋がっているのかもしれないと感じました。

NPO法人 虹の会
宅老所 虹の家
住所：我孫子市新木野3-32-15
電話：04-7179-3133
※現在、新規ボランティアの受入は中止しています。

お部屋には入らず、入り口から玄関までの消毒作業をしています。

登録ボランティアにインタビュー

今やれることを楽しみながら、前向きにね♪

＼ボランティア募集中／
社会福祉法人つくばね会
けやき社会センター
住所：我孫子市都部新田字芝原下37-2
電話：04-7187-1944

我孫子市生涯学習センター「アビスタ」内にあり、手賀沼公園や図書館に訪れた人々が憩う「喫茶ぷらっと」。社会福祉法人つくばね会が運営し、障がい者の方々が就労をするための第一歩を踏み出す場にもなっています。この場所で１０年以上ボランティア活動を続けている下藤（しもふじ）さんにお話しを伺いました。

仕事柄、地域に関わることが多かった下藤さんは、働き盛りの４０代の頃から地域の仲間づくりの大切さを感じていたそうです。定年後を見据え、少しずつ地域に出ていかなければという思いが、自然とボランティア活動に繋がり、町内ボランティア、高齢者施設、障がい者施設などで様々な活動を行ってきたそうです。

そして現在は、けやき社会センターのボランティアスタッフとして「喫茶ぷらっと」で主に食器洗いを担当しています。ここでの活動を始めた１２年ほど前は、週に１度、開店から閉店まで活動していたそうですが、今では月１回３時間程度、体調に合わせ活動する日を調整しながら、無理なく続けているそうです。

お客様で賑わうランチタイムにテキパキと洗い物をこなす下藤さん。時折、障がい者の方々や、お客様との交流を楽しんでいます。

なぜそんなに長く積極的にボランティアを続けられるんですか。と聞くと「なぜって…生きてるからでしょうねぇ…。」と深い言葉が。「生きてる以上は自分も誰かのお世話になっている。やっぱり一人では生きられないのよ。今やれることを楽しみながら前向きにね。生きてる人間として普通のことよ。うふふ。」と笑顔で話してくださいました。そして「ボランティアはそんなに難しいことじゃないのよ。改まってボランティアなんていうけれど、身近なところで自分のできることをやっているだけよ。若い人にはどんどん地域に出ていってほしい！」とも話してくださいました。

誰かのお世話になり、自分のできることを身近なところで返していく。終始明るく話してくださる下藤さんからは、地域とつながり、感謝の気持ちを持ちながら、お互いに助け合おうという心意気が伝わってきました。

ー　趣味を生かしてボランティア　ー

定年退職後に始めたハガキ絵は、顔料を使って描く本格派。高齢者施設へ寄付をしたり、「喫茶ぷらっと」に展示し、興味を持ってくださったお客様に差し上げているそうです。

けやき社会センターの枇杷と、ひまわりの裏側のチカラ強さに注目。着眼点がナイス！

受入施設が増えました！

NEW!!
施設No.104
NPO法人木の子クラブ
我孫子障害福祉サービス事業
ひの木
住所：我孫子市湖北台3-4-7（湖北駅徒歩4分）
電話：04-7151-2747

室内にいながらも、日の光の変化を感じられる施設です。
撮影：小野寺宗貴

精神・知的の障がいを抱えながらも、前を向いて頑張って生きている人たちを、生活の安定、病気の克服、将来の就労に向けて切れ目なく応援することを目的とし、２０２１年１月に開設。

プライバシーを守りながらも、柔らかな光がふんだんに差し込むこだわりのデザイン空間で、施設利用者の方々が、思い思いの時間を過ごします。

生活のリズムを整えることを基本とし、孤立させず、同じ気持ちがわかるもの同士で、刺激し合いながらも安心して過ごすことができる“いばしょ”です。

＼ボランティア募集中／

ひの木では、精神・知的障害の福祉に関心があるボランティアを募集しています。活動内容は調理の補助、スタッフの補助（ご利用者様の見守り）等です。まずは見学からでもＯＫ！お気軽にお問い合せください。

令和2年度 報告　前年度の報告です。ボランティア活動、おつかれさまでした！

★１年間の最高スタンプ数は？
１位・・・２６６個（81歳男性）
２位・・・２００個（68歳女性）
３位・・・１５６個（77歳女性）

★登録者が多い地区は？
１位・・・湖北台
２位・・・つくし野
３位・・・久寺家

★登録者が多い年齢は？
１位・・・７３歳
２位・・・７７歳
３位・・・７９歳
※最高齢は９３歳

★総活動時間は？・・・３，３４３時間
★交付金申請者数は？　・・・１５８名
（交付金を辞退された方が３名いました）

お願い
ボランティア活動をする際は、日々の感染対策を行ったうえで、ご自身の体調と相談し、無理のないようにお願いします。